

日工會報

第14号

平成18年12月20日

発行 日立工業高校同窓会

発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎ 0294 (22) 1049

FAX 0294 (21) 4591

印刷所 協立印刷

☎ 0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



同窓会の皆様にはいつも大変お世話になっております。

最近の新聞報道などは、毎日のように校内いじめをはじめ、必須科目の未履修問題、教育基本法の改定問題などが報じられ、いま教育関連事項が人びとの注目を集めているようであります。教育が国にとって最重要事項の一つであることは職者の言葉を待つまでもないことであり、日本の将来、あるいは人類の将来の発展にかかせないことであるといっても過言ではないと思っております。

しかし教育が大事であることは

論を待たないと思えます。

広辞苑によりますと、「教育」とは、①教養を育てること。導いて善良ならしめること。導いて知識を開くこと。②「教育(education)」成熟者が未成熟者に、心身の諸性能を発育させる目的で、一定の方法により一定期間継続して及ぼす影響。その作用の主体には、家庭・学校・社会・国家その他の別がある。とあります。

母校においては、校長先生をはじめ諸先生方のご努力により、問題もなく「質実剛健」の伝統と校風の基に、先生と生徒が一体となって励んでおります。さらに先日の新聞によれば、十月一日「ツイリンクもてぎ」で行われた「Honda エコノパワー燃費競技全国大会」の二人乗りクラスにおいて「優勝」しました。母校が全国にその名をあげていることに、同窓会として一緒に喜びたいと思っております。

学校長挨拶

学校長 山田 修



同窓会の皆様には、日頃より学校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

私は、鈴木前校長の後任として、この四月から本校でお世話になってる山田と申します。鈴木前校長同様どうぞ宜しくお願い致します。

さて、皆様ご存知のとおり、本校では、平成十六年度に文部科学省から指定を受けて、これまで三年間にわたって、日本版デュアルシステム推進事業に取り組んでおります。このねらいは、生徒を企業へ派遣して、学校では学べない技術や技能を学ばせるとともに、職業観や勤労観の育成を図ることにあります。この成果につきましましては、今年三月、日立シビックセンターを会場に実施した成果発表会への参加者や生徒に係る多くの関係者から高く評価されており、成果の大きさを実感しているところであります。同時に今や、この

取り組みが、本校の特色の一つとして世間から注目されてきていることも事実でありますことから、学校といたしましては、文部科学省の指定期間が終了する来年以降も、この取組を継続して参りたいと考えているところであります。今年度の取り組みにつきましても、来年三月に成果発表会を予定しておりますので、機会がありましたら同窓会の皆様にも是非ごらん頂きたいと思えます。

また、部活動につきましましては、各部門とも、毎日一生懸命に取り組んでおりますが、特に顕著な活躍を見せているのは陸上部であります。今年も昨年に続いて好成績を上げております。神奈川県で行われた関東大会には九名が出場しましたが、そのうち、男子八〇〇メートルに出場した二名は、インターハイ出場へつながら快挙を成し遂げ、大阪でのインターハイに出場することができました。さらに、その内の一名は兵庫県で開催された国体への出場を果たし、陸上部に対する期待や注目度が、非常に高まってきている状況にあります。

このほか、野球部、サッカー部、剣道部、テニス部などにおいても活躍が見られますし、自動車部においては、一リットルで走行する距離を競う省エネルギーカーの県内競技会